

開設科目名	科目：建築計画学										担当教員：瀬渡章子							
開 講 期	前期			授業方法：講 義				単位数：2単位				週時間：2時間						
対 象 学 生	3回生			科目番号：064162														
授業の概要	建築計画とは、建築をつくるうえでの基礎となる技術であり、人々の生活（行為）と空間との対応が重視される分野である。授業では、各種建物に共通する基礎的事項（寸法計画、規模計画など）や空間性能（安全性、快適性など）について論じるとともに、具体的な建築として集合住宅を取りあげ、建築密度、住棟配置、住棟形式、住戸のグルーピング手法など、快適な集住環境の形成に重要な影響を与える個々の要素について講義する。																	
学 習 ・ 教 育 目 標	・ 建築計画の基本的概念を理解する。 ・ 寸法の単位、寸法のシステムなど寸法に関する基礎的概念・知識を習得する。 ・ 人間の心理・行動と空間との関連について理解する。 ・ 建築・住居の安全性に関する基本的な考え方および技術者の社会的責務を理解する。 ・ 集合住宅の形態別の特色とそれぞれの居住性を理解する。 ・ 集住体の計画に重要な住戸集合、住棟設計、配置設計の手法を理解する。																	
	対応表	A			B		C			D			E		F			
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	F-1	F-2	F-3
						◎	○		○									
キーワード	建築計画、人間の行動・心理・生活、寸法計画、空間性能、ユニバーサルデザイン、集合住宅																	
授 業 計 画	第1回 ガイダンス 建築計画とは何か 第2回 建築の成り立ち 第3回 寸法を計画する（1） 第4回 寸法を計画する（2） 第5回 人間の心理・行動と形態（1） 第6回 人間の心理・行動と形態（2） 第7回 空間の性能 第8回 建築の安全性（1）日常災害 第9回 建築の安全性（2）防犯 第10回 ユニバーサルデザイン（1） 第11回 ユニバーサルデザイン（2） 第12回 集合住宅の計画（1）集合住宅の特性 第13回 集合住宅の計画（2）住棟・住戸設計 第14回 集合住宅の計画（3）建築密度・配置設計・屋外空間 第15回 試験																	
教 科 書	『現代建築学 建築計画（1）新版』（鹿島出版会）。必要に応じてプリントを配付する。																	
参 考 書	授業において説明する																	
成 績 評 価 方 法	期末に試験を実施するとともに、授業内ミニレポートも評価の対象とし、総合的に評価を行う。																	
評価割合	定期試験 (中間・ 期末試験)	小テスト・ 授 業 内 レ ポ ー ト			宿題・授業 外レポート		授業態度・ 授 業 へ の 参 加 度		受 講 者 の 発 言 (プレゼン)		出 席					合 計		
	80%	20%			%		%		%		%		%			100%		
備 考	A～Fは住環境学科（専攻）の学習・教育目標である。具体的内容については住環境学科のホームページを参照のこと。 E棟507室 seto@cc.nara-wu.ac.jp、オフィスアワー（火）16：30～18：30																	